

2011年

7月1日（金曜日） 海への感謝と祈り - 海開き -

いよいよ海水浴シーズン本番を迎え、本年も海開きの式典が関係者の皆さんがご参集され、さきほどは安全祈願式も滞りなく執行され、心からお祝いを申し上げます。

海開きに先立ち、本市観光協会、小天橋観光協会、地元区の皆さんには、海岸清掃等のご準備をいただき、ご尽力をいただき、本当にありがとうございます。

東日本大震災では非常に多数の方々が被災され、心から哀悼の誠とお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧、復興を心から願うばかりです。今回の大震災は、地震もそうですが、それ以上に巨大津波により甚大な被害をもたらされたわけですが、思いますに、海は、日頃は私たちに様々な恵みを与えていただけていますが、他方で、今般のように、津波や海難など残念ですが様々な災害も海から受け、そしてそれらを懸命に乗り越えて、今日の繁栄を築いてまいりました。

私は、だからこそ、常日頃から、海という大自然の前に様々な恵みに感謝し、一方で、安全への真摯な祈りを捧げるという思いと姿勢がとても大事であると思いを新たにする次第ですし、海開きにあたりまして、改めて皆さんとともに海への感謝と祈りを捧げさせていただくことができました。

本年も、各海水浴場とも水質は万全ということですし、また、昨年秋には世界ジオパークの認定という貴重な魅力も浜に新たに加わり、域内外の多数の皆さんに京丹後の海で思う存分、海水浴を満喫していただきたいと思います。

何分にも暑い夏となりそうで、節電の取組みも各地で開始されますが、節電への前向きな対策としても大勢の皆さんに海水浴で過ごしていただいて、浜が大いに賑わいますように、そして何より水難事故のないシーズンとなりますよう、心から祈りたいと思います。併せて、海と海の活動を様々に守っていただきます関係者の皆さんには本当にありがとうございます。